

令和3年度

まちづくり推進部 大森地域局の方針書

局名	まちづくり推進部 大森地域局
局長名	佐藤 育三

1. 局の使命(ありたい姿)

多様な地域資源を活用し、地域住民との協働により「人・心・ふれあう郷土(まち)おおもり」を目指して、「人にやさしい特色ある地域づくり」を推進します。

2. 局の抱える課題(現状)

- (1)地域資源である大森テニスコートを中心とした大森リゾート村を有効活用し、地域の活力と賑わいを創出する必要がある。
- (2)「子育て支援ネットワーク委員会」は関係機関の連携がうまく機能しているので、引き続き継続した取り組みが必要。また、「高齢者一人暮らし訪問」についても、高齢者の安心に繋がる事業であることから、訪問時間の配分等、反省点を踏まえ継続した取り組みが必要。
- (3)個々の職員がスキルアップのための目標を持ち、それに向かって積極的な取組が必要。

3. 今年度の『スローガン』

『縁の下の力持ち』として元気で信頼される地域局になろう！

4. 今年度の方針

- (1)市民から信頼され、元気で活力ある地域づくり。
- (2)市民の規範となるべく振る舞いを意識して行動し、市民サービスの提供に向け職員の接遇やスキルを向上させる。
- (3)安全・安心な地域づくり(含む、防災に対する意識の醸成を図る)

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	地域資源を活用した活力ある地域づくりの推進
	取組内容	・地域資源である「大森リゾート村」全体を俯瞰して描き、魅力アップのための取り組みを行い、賑わいの創出を目指す。
(2)	実現したい成果	市民協働による地域見守りネットワークの構築
	取組内容	・「おおもり支えあい協議体」「大森地域子育て支援ネットワーク委員会」「地区交流センター」等との連携を強化し、安全で安心して暮らすことのできる地域づくりを目指す。
(3)	実現したい成果	明るく元気なあいさつの励行と市民からの信頼を意識して行動できる職員の推進
	取組内容	・市民の皆様が親しまれ、元気で信頼される地域局を目指すため、元気な対応が市民サービスの基本であることを認識し共有する。 ・市役所を代表しているという自覚と、市民に寄添う気持ちを持って市民対応する。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

(1)地域資源を活用した活力ある地域づくりの推進

・大森公園テニスコートにつきましては、当初コロナの影響により機材の納入に遅れが生じ、若干の工期延長となったが、5月30日滞りなくオープニングを迎えることが出来た。コロナ禍ではあったが利用者数は順調に推移し、9月末現在で令和元年度の総利用者数6,671人を超え10,102人の利用があった。また、週末のコート利用率は90%であった。

・さくら荘コテージについては、ワーケーションの推進に適した施設として、Wi-Fi環境の整備、浴室やトイレ等の改修を行った。

(2)市民協働による地域見守りネットワークの構築

・「おおもりの支えあい協議体」及び「大森地域子育て支援ネットワーク委員会」については関係機関と連携し課題解決に取り組んだ。

(3)明るく元気なあいさつの励行と市民からの信頼を意識して行動できる職員の推進

・市民の要望に対しワンデーレスポンスでの対応が出来ている。

・職員それぞれが、お客様に対し「あいさつ・声掛け」を励行するとともに、丁寧な案内、説明を行っている。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1)地域資源を活用した活力ある地域づくりの推進

・大森公園テニスコートについて、施設の新たな財源確保を目的にテニスコートのフェンス部分に民間企業等が広告を掲載できるよう検討する。

・さくら荘コテージにおけるワーケーションについては「秋田ワーケーション推進協会」を通じて首都圏の企業に情報発信していきたい。又、協会が主催する研修会に職員を参加させ、情報収集にあたりるとともにコテージの活用促進を図りたい。

・リゾート村内では大人が楽しめる施設はあるが、子供が楽しめる場所がなく、子供の広場においても遊具が充実していない。子供の広場遊具のために条件付きでいただいた寄附金を基に、充実した遊具の設置を検討したい。

・芝桜の今後の方向性について検討する。

(2)市民協働による地域見守りネットワークの構築

・高齢者一人暮らし訪問(職員、民生委員、保健師による)を行い、安全・安心な暮らしと更なるサービスの向上に努めます。

(3)明るく元気なあいさつの励行と市民からの信頼を意識して行動できる職員の推進

・引き続き来庁されたお客様に対し、丁寧な案内、説明を心掛けるとともに、ワンデーレスポンスを継続します。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1)地域資源を活用した活力ある地域づくりの推進

・令和4年4月より、施設整備等に充てるための新たな財源確保を目的に、大森公園テニスコートのフェンス内側に民間企業が広告を掲出できるようにした。現在、確実なところでは6社が掲出予定となっている。

・大森リゾート村では大人が楽しめる施設はありますが、子どもが楽しめる場所がなく、子どもの広場においても遊具が充実していない状況です。昨年、いただきました指定寄付金を足掛かりに、シンボリックな遊具の設置を検討しておりましたが、新年度においてコンビネーション遊具を設置することになりましたので、今後は子供から老人まで楽しめるリゾート村としての賑わいが期待できるものと考えております。

(2)市民協働による地域見守りネットワークの構築

・昨年9月下旬から10月中旬にかけ、75歳以上の一人暮らし高齢者135世帯を、民生児童委員と社会福祉協議会の福祉協力員と共に訪問しております。安否確認や今期の雪対策等の様々な相談をお聞きすることを目的に実施し、状況によっては健康状態を知るために、保健師が血圧測定や病院の受信を勧奨するなど、気軽に会話や相談できる関係を構築することが出来たものと感じております。今後は、障がい者世帯についても、必要に応じ訪問することが必要と感じております。

(3)明るく元気なあいさつの励行と市民からの信頼を意識して行動できる職員の推進

・今後とも、明るく元気な地域局を全職員で築くため、意識して積極的な挨拶、対応が出来るようコミュニケーションを大切にします。